

広報

たかのす

62・1・1

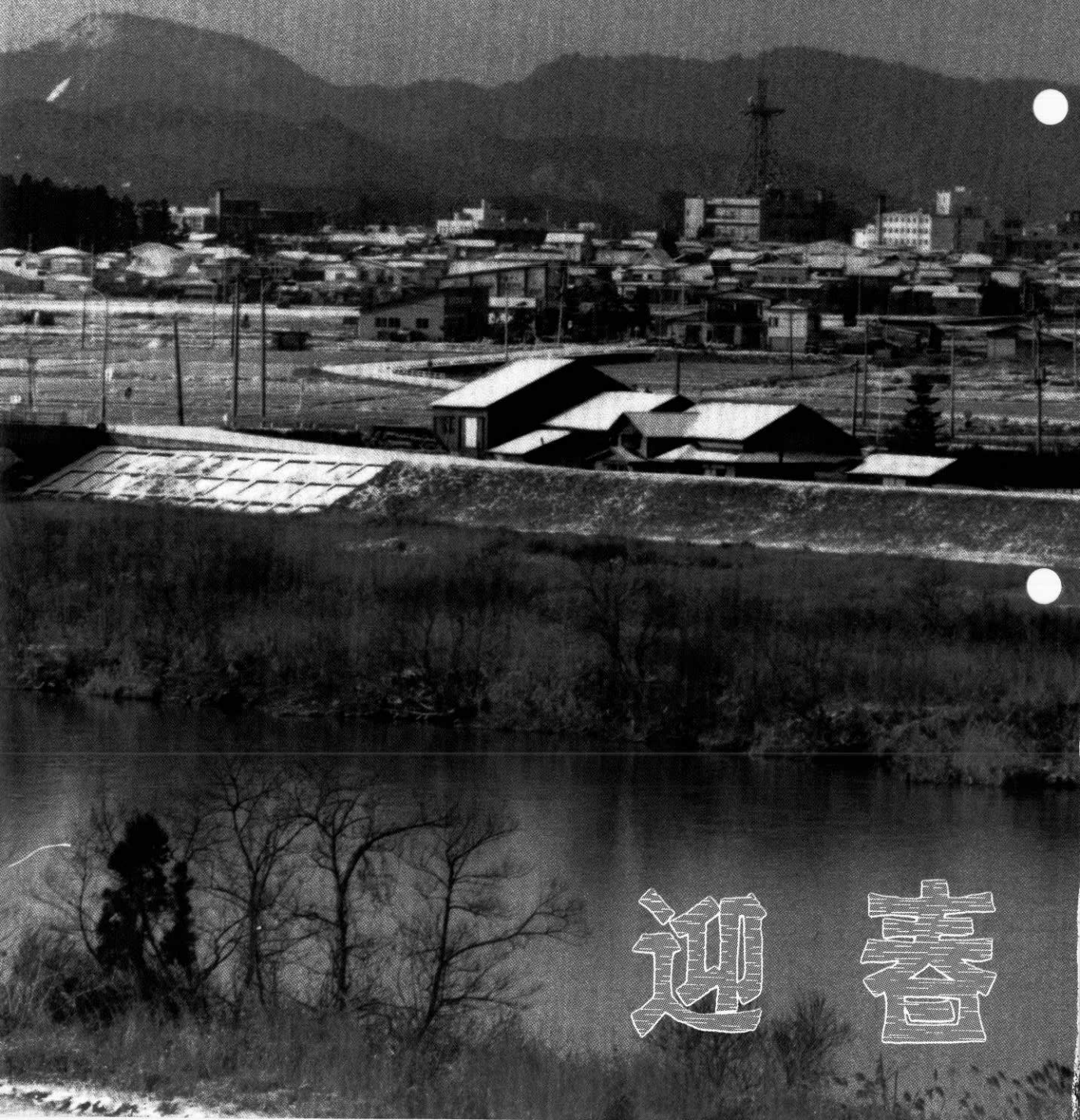
No. 591

発行日 毎月1日・15日

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

☎ 62-1111

◆印刷所 株式会社 成文社



迎春



謹賀新年

新年にあたり、皆様のご活躍をご祈念申し上げるとともに、健康で活性に満ち溢れ、二十一世紀に向って、大きく躍進される輝かしい年でありますよう、期待するものであります。

さて、当町では昨年、三・七一の日本一太鼓や鷹巣南中学校の完成、第三セクターによる秋田内陸線の開業、鷹巣農免農道の供用開始、峰越林道の開設等々数年来、懸案の事業がお陰様で完成いたしました。

ことは、広域交流センターの建設や農林業を含めた産業道の整備、国道一〇五号線鷹巣バイパスのあけぼの町以南の供用開始などが計画され、町の活力を求めて基盤がさらに補強されつつあり、町民各位の一層の努力と団結が強く望まれるところであります。

一方、国内経済においては、円高と長びく不況で景気は低迷し、財政面では最も厳しい局面を迎えており、国、地方自治体を問わず健全な財政の確立が緊急的な課題となっておりますが、増える行政需要と住民の期待、要望に応えるため、英知を結集して懸命の努力をいたす所存であります。

今後とも、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

昭和六十二年元旦

鷹巣町長 出川 禮一



町長

日誌

出川 禮一

12月1日~15日

■1日(月) 大館阿仁地域
国産材安定供給推進協議会。

八月設立以来二回目の会合で六十二年度及び六十三年度も、この協議会を継続し木材生産地としての重要課題を推進することにした。

■2日(火) 財産区管理会
連絡協議会。当町の委員を有している財産区は、坊沢、栄、七日市、綴子の四財産区で区有林総てを、昭和五十一年度以降町と分収契約

臣および県知事の辞令を伝達した。

■5日(金) 役場職員OB
会が開かれた。当町の助役であった成田正彦さん(本荘市)も出席され、成田さんの勲五等受章も祝った。

■9日(火) 農業者交流研究集会。鷹巣農業改良普及事業協議会(鷹巣町外四カ町村主催で、講演会および体験発表が行われた。今回の発表は、集落単位の活動

をし、町が管理経営に当たっている。その山林面積は、一二〇ヘクタール。現在まで下刈り、間伐、枝打ち作業道などに三億千五百万円が投じられ、将来の財産蓄積と当面の雇用拡大に意を尽している。この日の会議は、先に各委員に町管理状況の現地検分調査結果の意見、要望の総括が目的であった。

■4日(木) 十二月一日から三年間の任期で、六十四人の民生児童委員に厚生大臣が任命された。

や運動を主とし、現状の厳しい農業状況を真剣に受けとめ、どう対処するかに重点がおかれた。

■12日(金) 大沢、岩沢水道竣工式。栄の大沢、岩沢集落はここ数年、飲料水不足に悩まされていた。今回摩当簡水の拡張工事により、町の単独事業として行ったもので、二十九戸全戸に給水が行われた。

■15日(月) 十二月定例町議会が開かれた。

県立比内養護学校吉野分校が完成

障害児に木の温もりを

機能回復に期待される

四肢不自由児など心身に障害を持つ児童たちが学ぶ県立比内養護学校が総工費二億三千万円余りを投じて建設していましたが、十一月二十一日に竣工式が行われ、機能回復と学習意欲が高められると関係者から喜ばれています。

吉野分校は、昭和四十八年五月、南小学校と南中学校の

吉野分教室として授業が開始されましたが、五十二年に正

式に分校となり、社会福祉法人・県北報公会が運営する吉野子どもの村の施設を借りて授業が行われていました。

しかし、校舎が狭いうえ老朽化が激しいことから、六十二年六月から吉野地内に新築工事を進めていたものです。

総面積は、約七千三百平方メートルで、校舎の床面積は約千平方メートルです。八つの普通教室のほか職員室、多目的室、教材室、

技術室、保健室、体育館などとなっています。

校舎の入口などは車イス用のスロープが設置されているほか、廊下に沿って手すりがあるが、廊下に沿って歩行が不自由な子供たちに不便を感じさせないよう配慮され、トイレにはシャワールームも併設されている立派な施設です。

また、校舎には木材をふんだんに使用し、温もりが伝わるほか、脳への刺激を与えるよう工夫されています。

吉野分校には、小学生、中学生を合わせて二十六人が学んでおり、四肢不自由、言語障害、自閉傾向など重いハンディを背負っているのが、新校舎の完成で、機能が回復されるとともに、身近で学ぶのが味わえるところとあって、関係者から喜ばれています。

校舎に隣接して小グラウンドも整備され、総工費は約二億三千万円でした。

綴子地区「町長と語る会」

「大太鼓展示館」の建設を検討



でのルートで、米代川橋の架設を含めて十五億円の予算であり、六十二年度に採決の見通しである」と述べました。次いで参加した各自治会長から、要望や意見が出されましたので、主なものについて報告いたします。

大太鼓の修蔵庫を兼ねた展示館がほしい。上町、下町がいつしよになることが条件で、展示や実演ができ売店などもあって、多くの人が訪れるような建物と場所について検討したい。

松原／岩谷間にキャンプ場がほしい。子供たちの求め方もちがってきており自然の景観もよくなければならない。水と便所が必要であり、全町的に適地があるかどうか。

綴子川の自転車道に防犯灯が必要だ。全町的な問題であり検討したい。

十二月八日午後二時から綴子児童館で、綴子地区の「町長と語る会」が開催されました。

出川町長は行政全般にふれたあと「国道一〇五はあけぼの町以南が六十二年度に供用開始され、その後あけぼの町以北の工事に取りかかるが、綴子地区の圃場整備も同時に進めたい。綴子農免は向黒沢から田中ま

12月定例議会



六十一年十二月定例町議会は、十二月十五日から二十四日まで十日間の会期で開かれしました。議会は初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われたあと各常任委員会に付託、十七、十八の両日に一般質問、十九日から各常任委員会、最終日に本会議を開いて閉会しました。十二月定例会の行政報告は次のとおりです。なお決定した議案は一月十五日付広報で報告します。

秋田内陸線は民鉄でスタート

〔企画財政課関係〕：秋田内陸線は、全県的な支援を得ながら、それぞれ北線・南線として十一月一日に民営鉄道によりスタート。鷹巣駅において、会社関係者はじめ、各機関団体、基金協力会など多数の出席のもとに、安全祈願祭、開業式典を挙行、式後、比立内駅まで試乗し、秋田内陸線の発展を誓いあいました。

秋田内陸線運営助成基金の募集を目的に行われた、開業記念沿線ツアーについては、町民各位の暖かいご協力を得て、二〇六件、千二百三十万円（十一月末現在）となり、諸経費控除後の額も、昭和六十一年度分の基金目標額九百八十万円を確保することができました。

〔管財課関係〕：財政運営の効率化を図る上から

青山荘に短期入所施設完成

〔町民課関係〕：在宅ねたきり老人に対する介護負担の軽減を図るため、短期入所施設を青山荘に

も、町有財産のうち、土地等の遊休財産について売却。借地権の継続しているもののうち、随意契約九件、競売入札二件、売払額は五千三百三十八万千円となりました。旧南中学校校舎は、解体工事中であり十二月中旬に完了します。

地籍調査事業は、脇神字石の巻岱ほか三二字十一・八平方メートルについて、一筆調査、細部測量まで完了し、十二月中旬に土地所有者に対し、一筆地の仮閲覧を実施します。栄字上田沢ほか五九字、九・二平方メートルは、昭和六十二年度に一筆調査、細部測量の予定地ですが、測量の基本となる基準杭を埋石し航空測量まで完了しました。

無傷病の一六一世帯に記念品

〔保健衛生課関係〕：「自らの健康は自ら守る」という意識の普及徹底をはかり、健康で豊かな町づくりを目標に十四回目の健康大学講座を、七日市地区を対象に六月から十月まで五回開催し、延

増設し、十一月五日から入所開始しております。摩当地区に貯水槽の新設をはじめ、町内十四カ所の無蓋貯水槽に危険防止のための防護柵の取付工事等を、それぞれ十二月中旬に完成の予定です。消防器具置場は、老朽の著しい地区から順次整備を進めており黒沢、川口、与助岱の改築工事も十二月中旬に完成の予定であります。小型ポンプの更新は、第二分団（七座）、第七分団（沢口）に配備完了しました。

水防資材センターを新設

水防倉庫は、摩当ほか三カ所に設置しておりますでしたが、いずれも老朽がはげしく、これら四カ所を廃止して、集中管理を行うため、広域消防署隣りに水防資材センターの新設工事を進めてます。本町の交通事故は昨年同期より件数で二〇件、死者二人、傷者十一人の増と最悪事態となっております。

これから年始に向けて町民総ぐるみで事故防止に取り組むよう努めます。

防犯関係では、学校児童生徒の通学路を主に防犯灯の設置に努めてきましたが南中学校前、七日市、妹尾館通学路に設置を完了し、糠沢駅前ほか二カ所の通学路にも十二月中旬に設置完了の予定であります。

かねて工事を進めてまいりました市日開催地（元町）の公衆便所新築は十二月末に完成の予定です。

べ五六〇人の参加がありました。また、文化祭期間中に開催した健康展は、日常生活での健康づくりをテーマに、カゼなどの予防と手当法、パネル展示と健康教育を実施しました。

狂犬病予防法で義務づけられている狂犬病予防注射と登録は、十一月末現在予防注射六〇〇頭、登録六三九頭の実績であります。なお、同時に犬の放し飼い、危害防止、不用犬の放棄防止等についても引き続き指導してまゐります。

県指定の今泉緑地環境保全地域の県単設備遊歩道（幅員一〇メートル）設置工事は、昨年度から二カ年事業で施工され、延長一・三三〇メートル、案内標識等の新設も今泉集落ならびに地権者の協力により、十一月末に完成しました。

食肉センター構内の舗装補修工事（契約額三百万円、一・八八九平方メートル）を九月三十日に発注し、十月末に完成しました。

国保事業では、被保険者の無傷病家庭の健康をお祝いし、六十年度中の無傷病家庭一六一世帯と老人保健法の受給対象者二四人に記念品を贈る予定であります。

明利又温泉開 発ボーリング

〔商工観光課関係〕：第六回産業祭は「地域の活力と豊かさを求めて」をメインテーマに、十一月

一日から三日まで開かれ期間中約一万八千人の人出で賑いをみせました。

特に、地元和牛肉の即売、秋田内陸沿線物産展即売、藤株遺跡展なども行われ、参観者の高い関心と呼ぶことができました。

中小企業振興資金制度（マル鷹融資）の利用状況は、十一月末現在六〇件、二億三百六十万円、利用残高は、百七十件、三億千四百三十三万七千円となり、預託額に対して三・九倍の利用額にな

っております。

なお、十月からは、預託額を千万円増額し、融資制度の円滑な運用に努めております。

明利又温泉開発ボーリング工事は、六十二年二月末日の工期で掘さくします。

湯の岱温泉の利用状況は、十一月末現在の操業日数が二二八日で、入浴利用者は三三、二〇九人（一日平均一四一人）となります。

このうち町外からの利用者が約二九％にあたっております。

湯の岱温泉の 旧山亭を取得

沢口農業協同組合所有の、湯の岱温泉保養施設、宅地二、三〇九・九五平方メートル、建物六九五・五八

平方メートル等について、町営温泉湯治場の経営規模の拡大、施設機能の強化による温泉の一体的、効率的な活用をはかるため、町有財産として取得したいと考えております。なお、財源の一部に、辺地対策事業債を充当することにしております。

出稼互助会の加入状況は、十一月末現在で三二八人となっており、出稼先別では、関東六一・四％、中京三一・六％、関西六・一％の順になっております。

十一月二日、三日にわたり、ヘラ鮎の放流を実施しました。今回は、県ヘラ鮎研究会、町ヘラ鮎研究会、マルキュー株式会社（大宮市）等の多大な協力のもとに中央公園に成魚千尾、新たな釣り場として今泉大堤に成魚千尾の放流を行い来年に備えることができました。

勤労者住宅生協による「あさひ団地」の土地分譲は本年度十区画の実績をもって、総区画五五の分譲を全て終えることができました。なお、現在十八戸の住宅が建築されております。

与助岱橋が三カ年事業で完成

〔建設課関係〕：本年四月より十一月末までに発注した各種工事は一〇八件、六億二百八十九万九千円、予算対比九六・三％の発注率です。

本年度予定されている箇所については、設計の出来次第発注の予定です。

今年完了の主な事業は、五十九年度より継続中の与助岱橋延長三九メートル、幅員七メートル、総事業費一億三千六百二十万、坊沢、大向線延長二、七一六メートルの全線が舗装完了、単年度事業としては南中通学路整備事業、藤株、焼却場線延長四三九メートルが完了しております。

災害復旧工事は、凍上災十件、河川災九件を発注、早期完成を目指しております。直営による舗装は、米代川堤防線ほか十八路線、四、五〇〇メートル完了しております。

都市計画街路事業は、関係者二十二人のうち五十九年より六十年十一月までに完了者十四人、六十二年度において五人の事業を予定しています。

除雪については、幹線道路、生活路線、その他の路線を含めて一七九キロを直営一五台、委託二二台、計三七台計画しております。

作況指数は「一〇七」の豊作

〔農林課関係〕：今年の稲作は、早生種アキヒカリを中心に障害不稔が目立ち、農家をはじめ関係者は、収穫まで気のおちつかない一年でありました。十月十五日現在、水稻作況指数は、秋田県「一〇五」県北「一〇七」のやや良で、十アール当り平均収量も、県計六〇七キログラム（昨年六〇三キログラム）、県北六〇七キログラム（昨年五八五キログラム）となり結果的

に、三年続きの豊作となりました。

十二月一日現在、本町の売り渡し産米総出荷量は二一六、九八七俵（六十キログラム）（昨年最終実績は二一七、二九三俵）となっております。また六十一年度転作実績は、四五九〇（目標四四七〇）達成率一〇二・七％で、その奨励金は一億七千七百五十二万三千円（昨年実績一億七千六百一十一万五千円）となっております。

三年目に入りました「ふるさと東京交流会」を十月三日私学会館（東京）で開催したところ九五人の参加。交流会では、東京鷹巣会を結成して今後の町づくりの各般にわたって役立ちたいなど活発な意見交換が行われ、盛会裡に終了しました。

農地流動化促進強調月間にあわせ、十一月十四日、一日相談会と説明会を開催したところ、貸し手農家の予想以上の出席があり、新しく十人を制度利用に結びつけることができました。

九月三十日、大野台農業開発の六十二年度本調査を前に、農協役員、関係集落代表、推進員代表、関係町議会議員、町代表三〇人で構成する鷹巣町国営総合農地開発事業促進協議会を発足させ、地元体制を整備し、仮同意作業や重点作目要望作業等のとりまとめに入っております。

昭和五十六年度から、農業の近代化、低コスト農業をめざしてすすめてきた彦四郎農道整備事業（総事業費四千四百七十万円、延長九七五メートル）は、九月二十二日竣工しました。

鷹巣農免に川添橋が竣工す

十月二日鷹巣農免川添橋が竣工し、本格的な農作業を前に、関係者による竣工渡り初め式を行い、交通安全祈願と竣工を喜びあいました。

農業災害復旧については、冬期渇水期を待つて発注を要する二件を残し、発注済（三五件）で、

十二月末日でそのほとんどを完工する見込みです。

採択が難航していた美田古排特事業が、陳情の繰り返し等により、ようやく十月十八日採択の内定と本年度事業費、四百万円の内示分配分がありました。

第二回みんなでつくる「緑と憩の森」づくり、町民慶祝記念植樹祭が十月二十二日、小雨降る中、北・西幼稚園児によるキジ放鳥行事とともに、一三二人が参加し、慶祝公園にアジサイ五本、ナナカマド一四本、花梅四四本、桜二二本の町民慶祝記念植栽が行われました。

新林構事業で、六十、六十一年の二カ年事業ですすめていた、大石沢連絡道（事業費四百六万三千円、延長二六〇メートル、幅員五メートル）の本年度分舗装工事が十月三十日完工、林道根小屋沢線（総事業費三千三百九十六万円、延長一、〇〇〇メートル、幅員四メートル）は、十一月二十九日完工、五十九年から三カ年で開設中であつた普通林道立又線（総事業費一億千八百三十八万円、延長二、五六〇メートル、幅員四メートル）は、十一月八日それぞれ完工し、供用を開始しております。

中央公民館が全面改修

〔教育委員会関係〕：全県高校新人陸上競技大会が、九月二十一日～二十二日陸上競技場で開催され一、二〇〇人の選手が参加しました。

第二十四回町民体育祭及び、第二十二回町民駅伝大会は、体育の日に同時開催され、陸上競技場を中心に町民二、〇〇〇人が参加しました。

また、第十八回文化祭は「町づくりと文化を考える」をテーマに十一月一日から三日まで中央公民館分館を主会場に開催され地域展では、羽州街道、文化財めぐり、伝承芸能大会が注目を集め、

特に分館に収集されている約一、六〇〇点の民族資料に大きな関心が寄せられ、一万人におよび人出で連日賑いをみせました。

十月十日に着工した、中央公民館の全面改修工事は、内、外装を一新して、十二月九日完了いたしました。今後は、社会教育など町民の交流の場として快適に利用できるよう配慮します。

大沢・岩坂に簡水の給水開始

〔水道課関係〕：東鷹巣橋の架橋にともなう水道管添架工事が、十月末日で関連工事も完了し、通水体制が整いました。

また、国道七号線道路改良工事に併せて、深閑地内に延長三五四メートルの本管布設を施行すると共に藤株集落内町道改良工事にともない、本管三三二メートルを埋設し給水体制を整備しました。

簡易水道事業では、摩当簡易水道拡張工事（大沢、岩坂地区）が延長二、〇〇〇メートル給水件数二十九件、事業費千二百九十八万八千円で施行され、十一月二十五日竣工し、従来の給水難を解消することができました。向黒沢地区の水源地下水不足対策としては新水源地をボーリングしたところ、水質も基準値に適合し、且つ水量も豊富であり配水管理設の直営工事を含め、関連工事費二百四十八万二千元をもって完了し、十一月六日より通水し給水の安定供給を図っております。

昭和六十一年度上期の給水状況は、夏場の異常低温等により、上水道給水件数三、〇七六件、給水量六〇三、一一二立方で対前年比件数一〇・一八％、給水量九七・二％であり、また簡水事業でも件数二、一五四件、給水量二八七、三九一平方で対前年比件数一〇〇％、給水量九七・七％と伸び悩みの傾向にあります。

おしらせ



産業別最低賃金が改正

県内の産業別最低賃金が、十二月二十九日以降次のとおり改正されました。

▽食料品、飲料、飼料製造業

Ⅱ三千六百二十円（一日）四百

五十一円（一時間）

▽繊維産業Ⅱ三千四百六十七

円（同）、四百三十四円（同）

▽木材・木製品・家具・装備

品製造業Ⅱ三千七百二十四円

（同）、四百六十六円（同）

▽出版・印刷、同関連産業Ⅱ

三千六百十二円（同）、四百

五十二円（同）

▽機械・金属製品等製造業及

び自動車整備業Ⅱ三千七百七

十八円（同）、四百七十三円

（同）

▽卸売・小売業Ⅱ①卸売業、

自動車小売業Ⅱ三千七百六十

一元（同）、四百七十一円（同）
②小売業Ⅱ三千五百三十五円（同）、四百四十二円（同）

十八歳未満または、六十五歳以上の者は産業別最低賃金の適用は除外されます。

くわしいことについては、秋田労働基準局（☎〇一八八―六二―六六八二）へお問い合わせください。

あなたの発想を地域に生かそう

県では、地域で考えられているさまざまな発想を実現するために「地域の発想を育てる会」を発足させました。この会は、地域の活性化につながる発想をもちながら「どのようにに生かしたらよいのかわからない」という方に、各界の有識者がアドバイスをするものです。

▽相談の内容

一・五次産業の振興、地場産業対策、観光レクリエーション開発、まちづくり、イベント、交流事業など地域の活性化となるものなら、どんなものでも結構です。

▽申し込み方法

役場企画財政課企画係に用

意してある用紙に記入し、直接育てる会事務局へ申し込みください。なお、口頭で申し込むこともできます。

▽申し込み先

〒010 秋田市山王四丁目一
一 秋田県地域開発課内「地域の発想を育てる会事務局」（☎〇一八八―六〇―一九二四）

停電のお知らせ

一月の作業停電は、次の地区です。

▽14日Ⅱ妹尾館、中畑、大畑、葛黒（午前九時～午後一時）

町史・テレホンカード記念切符の頒布

町史「資料編Ⅰ」、秋田内陸線記念テレホンカード、記念切符が残っていますので、希望者は申し込みください。
▽町史「資料編Ⅰ」Ⅱ一冊五千円

▽内陸線記念テレホンカードⅡ一枚千円

▽内陸線記念切符Ⅱ三枚一組八百四十円

申し込みと問合せは鷹巣町役場財政課企画係（☎六二―一一―内線二四三）へ

スポーツ教室で体力づくりしませんか

冬季のスポーツ教室を次のとおり開催いたしますので、体力づくりにぜひご参加ください。

▼ママさんスポーツ教室Ⅱ

一月十三日（火）から毎週火曜日、10時から12時まで

▼卓球教室Ⅱ一月十三日（火）から毎週火曜日、19時から21時まで

▼バドミントン教室Ⅱ一月二十二日（木）から毎週木曜日、19時から21時まで

▼軟式テニス教室Ⅱ一月十二日（月）から毎週月19時～21時

▼スキー教室（葉師山）Ⅱ一月十二日から十回、13時30分～15時30分

▼ソフトボール教室Ⅱ一月十三日から毎週火、金曜、19時～21時

参加料は、▼教委主催で一回百円▽体協主催で千円

申込みは鷹巣体育館へ

夜間当番医（夜間診療）の日程表

（午後6時30分～9時）

1月	曜日	医療機関名
1	木	北秋中央病院
2	金	佐々木産婦人科医院
3	土	盛岡外科学医院
4	日	戸嶋医院
5	月	鷹巣病院
6	火	戸嶋産婦人科医院
7	水	近藤医院
8	木	白田医院
9	金	北秋中央病院
10	土	佐々木産婦人科医院
11	日	奈良医院
12	月	佐藤外科消化器科医院
13	火	藤原医院
14	水	戸嶋医院
15	木	盛岡外科学医院

急患以外は受けません

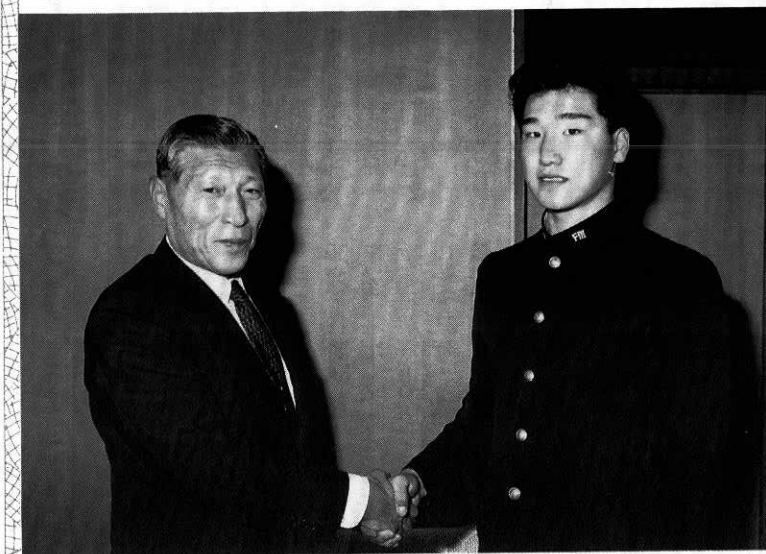


米代川河川緑地公園(小沼地内)

町では、ことしから国の補助事業として、米代川の内陸線鉄橋付近の河川敷に、緑地公園を設置することになりました。面積は6.6㌥、事業費は2億700万円です。施設は、野球やレクリエーションができる多目的広場、ソフトボール場、家族づれが憩う芝生広場、ゲートボール4面、テニスコート4面、親と子供が親しく遊べる健康広場となっています。62年度から着工し、66年度に完成させることになっています。

ガンバレ!! 中島くん

11月20日に行われたプロ野球ドラフト会議で、鷹巣農林高校の中島聡くんが、全国屈指の捕手として阪急ブレーブス球団に3位指名されました。中島くんは12月22日に入団契約をしましたが、早くも郷土の期待を集めています。



62年に
大まぐら



元旦のテレビで大太鼓が全国放映

昨年9月に日本一の座を奪回した3.71億の綴子大太鼓は、フジテレビの人気番組「なるほど・ザ・ワールド」に出演することになり、12月6日綴子小学校グラウンドで収録が行われました。元旦の夜9時から全国放送(AKT)されますが、壮観な綴子大太鼓で新春の番組が展開されます。ぜひご覧になってください。



内陸線で三人娘が活躍

秋田内陸線の開業を記念して、昨年十一月三日に「ミス秋田内陸線コンテスト」が行われ、ミスにあけぼの町・佐藤由美さん(23・団体職員Ⅱ中)、準ミスに小ヶ田・中島エリ子さん(23・事務員Ⅱ右)と大町・佐々木祐子さん(23・会社員Ⅱ左)が選ばれ、一年間、内陸線の催し物のコンパニオンとして活躍することになります。



活力ある村づくりをめざし

農業は協業化の時代

経営の安定と技術の向上を



農業交流会研究集会が十二月九日鷹巣町農協ホールで開催され、県立農業短期大学・工藤昭彦助教授が「活力ある村づくりは如何にあるべきか」をテーマに講演しました。みなさんの豊かな農業経営に役立つよう講演の内容をまとめてみました。

活力ある村づくりの最大の

ポイントは「飯が食える基盤」はどうなのかということである。県北地方は農業が基盤に

農業生産は三倍に伸びている が畜産では借金も増えている

県北地方の農業生産高は、昭和四十五年の転作以降三倍になり、県平均よりやや落ちている。野菜の伸びは低く、畜産が伸びているが、同時に畜産の借金も伸びている。

岩手県遠野市の畜産農家の負債額は約十億で、財産を処分してもだめな農家の負債額は三億円くらい。一人頭で四、五千万円であった。同じ規模でも経営内容に差があった。

ならなければ、地域の活性化は望めない。

その点、県北地区には多くの地域資源がある。例えばキリタンボ、ソバ、比内鶏、トブリなどで、商工団体が「地域おこし」を考えれば、素材は農業にあり、農業の活力が地域全体の活力に結びつく。

酪農、畜産、野菜農家でう

まくいっている農家に共通していることは、親がしっかりとっていることだった。経営が堅実で牛を飼う前に草をつくり、草をつくる前に土をつくることを徹底して実施。時には、安い輸入飼料の時代もあったに違いないが、一貫して飼料の自給に努めた。だめになった酪農、畜産農家は購入飼料依存型であった。

もう一つは、規模拡大するとき、年に十〜十五頭も牛を導入して二〜三年で拡大した農家はピンチになっている。年に一〜二頭を入れ、ここぞというとき、最高五頭くらい入れ十年間で三十頭飼育にした人は経営が安定している。

乳牛でも繁殖牛でも導入牛にたよらないで、元牛に自信をもって繁殖させ、割安に規模拡大している。

補助事業で有利に牛を導入した人もいれば、必要ないからと利用しない人もいる。また、補助事業があるから、やれやれといわれて牛をたくさん導入し困っている例も遠野市ではたくさんあるということだった。

設備投資する場合 自己資金で堅実に

宮城県のある町では、農協の預託牛で五十頭平均の規模だが、借金で首が回らないという農家が多い。それは農協を通さないで家畜商に販売するので、現金は自分のものと考え、借金返済に金は回らず自然と負債が増える。預託牛はよい制度だが、ひと山あてようとするところに問題がある。

健全な農家は、設備投資をするとき自己資金を使っている。三百万円の設備投資で百五十万円は自己資金だ。時には七割まで自己資金という例がある。企業はほとんどがそうである。

秋田県の農家の場合は、自己資金五％で設備投資をし、あとは制度資金を借りるというところで、ルーズな経営は軒なみ失敗している。

過剰生産で倒産農家は世界的現象だ

農業情勢が厳しいということは、良い農家は残り、悪い農家は落ちる。これは資本主義、商品経済の今日は当然であり、日本だけの問題ではない。ヨーロッパ、アメリカの農場でも倒産が多く、国や州経済が破綻をきたしている。

中国は食糧が自給でき輸出できるまでになった。食糧不足といわれたアジアの国々も自給できるようになった。アメリカでは三五％も米を生産調整し、日本のポスト第三期以上である。世界の食糧は過剰になっており、過剰になると価額は安くなり収入が減る。そして倒産農家が増えるという現象は世界的だ。

三人で協業経営し二八ヘクを耕作して年所得は七百万円

農業がいくら機械化されても、一人では無理だし、夫婦だけでも大変だ。

この点、湯沢周辺で成功している協業組織がある。建築関係の仕事をしていた人などが、農業を見はなしかげんになった十年前に組作業を行うようになった。

経営主体は三人で、労働力は九人。面積は、稲作（請負を含む）が八畝、全作業請負が十畝、転作十畝で合計二十八畝。そのうち一戸当りの面積は平均で一・七畝と少なかった。普通この規模は百五十万円の所得だが、協業経営で一戸当り七百万円。この場合転作は二年三作で大豆が三百畝、ムギ二百畝、ほかにトマト、レタス、枝豆、カボチャなどを手がけ、冬期農業として、燃料、設備でコストの安いモミガラ燃料ハウスを予定しているとのことだった。

夫は月給十八万円で妻は日当四千五百円

まさに大型複合経営を協業化で実施している。月給は十

だったのが請負わせて四俵の小作料をもらったと驚いていた。

結論をいえば、地域の農地はだれかがやる。その土地は大事にする。働く場所の保全管理が大切だということだ。

農業協同組合精神で

原点にかえるべきだ

経営のなかみは企業的な経営である。組織の運営は、水田の保全管理、月給は平等、請負額の決め方、転作団地化の決定など、農協発足当時の協同組合精神になっている。

組織・技術・販売戦略の三つが地域農業を振興させる条件

これは、鷹巣でもやる気になればできる。人材がいなかったり、仲間がいなかったり悪い考えのものがいるといけないが、意気込み、迫力が十分で、複式簿記ができれば鷹巣でも可能だ。

また、地域農業を振興する条件は、組織と技術と販売戦略の三つをかねそなえていないと、産地づくり形態も地域農業もできない。生産活動や土地利用の組織技術研修、部会の組織などを

ものの考え経営の合理化、組織の農協組合的性質は、まさに協同組合的農企業である。現在の農協は営農指導も行ってはいるが、商売協同組合的

性格が強く、原点にたちかえらなければならない。

九人の仲間が知恵を出しあって、計画をたてている。これは湯沢だけではなく、県内で多くみられるようになった。集落単位では無理だが気のあった仲間ではできるといふことである。もちろん剰余金が蓄積され、冬期のハウスを建てる財源にもなっている。

補助金より自分たちの出資で技術研修を

若美町のアムスメロンづくりは、自分たちが出資して本部、支部の予算をもっている。補助金では志気があがらないが、自分たちの出した金で研修すると、みる目がちがうし輝きも違う。

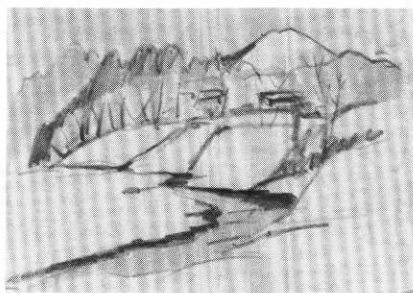
モミがら堆肥で土づくりをしたり、技術のある人がよい苗をつくったり育苗を共同で行ったりしている。作期は、トンネル、ビニールを使って一カ月になるよう調整している。有機メロンとして出荷している。

若美、八竜は半農半漁で所得が低かったが、十年後のいまでは所得も八倍から十倍にのび、秋田県代表する農業になった。

その点、県北地方は馬力がかかっていない。新しい協業経営をつくって、農業の活性化をはかってほしい。

うまい米プラス銘柄の特産物づくりを

ポスト第三期では売れる米をつくることだ。豊かな土があり恵まれた水資源がある。売れる米はおいしい米で、味の勝負ではアメリカに対抗できる。げんにアメリカの寿し屋が、日本のおいしい米を三万円で輸出してくれといっている。プラスアルファとしての特産物も、ネギやトマト、ナス、キウリなど、日本人の常食とする野菜で品質を高め、銘柄品種となるよう努力することが大切だ。



一線美術会運営委員 九島寛二氏

一月の健康相談

一月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十四日と二十八日です。

時間は午前十時から午後三時まで。血圧測定のほか、尿検査体重測定など行います。

また、午前中は健康教育で高血圧予防の日常生活について、午後は健康体操など行います。

母子健康手帳交付と妊婦健康指導は六日と十九日です。

受付時間は、午後一時から一時三十分。指導は三時まで。必ず本人がおいでください。※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

乳児健康診査は、二十九日です。

対象は六十一年九月生まれのお子さんです。

小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。

受付時間は午後零時四十分から午後一時まで。

離乳食指導と七カ月児健康相談は二十九日です。

対象は六十一年六月生まれのお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

三歳児健康診査は、七日です。

対象は五十八年十一月、十二月生まれとなっています。

受付時間は、午後零時四十分から一時三十分まで。母子健康手帳と問診票をお持ちください。

母親教室の開設

妊婦を対象とした、母親教室は次のとおりです。

妊娠中から正しい知識を身につけて、充分な健康管理を行い、安心して出産をむかえるようぜひ受講してください。

▽日時 一月二十二日、午前

十時から午後三時まで

▽場所 中央公民館保健相談室です。

▽受講内容 映画(すばらしい母乳)、講話、実技(妊婦体操、赤ちゃんのお風呂の入れ方)など行います。

※母子健康手帳、トレパン、テキスト、昼食をお持ちください。

善意

▽合資会社高坂呉服店(代表、高坂祐司) から二万円

▽鷹巣町商工会青年部(部長・津谷永光) からクリスマスパ

ーティー収益金の一部として一万円

▽県北商友会(市日出店組合代表・菊地義雄) から二万円

香典返し

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に感謝いたします。

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽旭町 柴田三一郎さんから亡父定吉さんの香典返し

▽綴子上町 高橋宗一さんから亡母シマさんの香典返し

▽綴子上町 高橋隆男さんから亡祖母シワさんの香典返し

▽松葉町 工藤瞳さんから亡夫博行さんの香典返し

▽綴子上町 高橋良一さんから亡父佐一郎さんの香典返し

慶弔だより

12月1日 12月15日

誕生おめでとうございます

田中 美幸(勝敏) 二女 田中 沢

松前 鉄子(三雄) 二女 七日市

橋本 拓矢(松悦) 長男 宮前町

事件や事故!! 見たら聞いたら一〇番

鷹巣警察署

明石めぐみ(勇) 長女 前山
能登谷一則(重則) 長男 深関
千葉 敬太(功) 長男 岩脇
三澤佳奈(奈枝) 二女 田中
上杉 直慶(政壽) 二男 新田中
仲谷 麻貴(茂好) 二女 今泉
二人の前途を祝福いたします

高橋 勇行 糠沢
山口 香代子 比内町
萩野 忠博 旭町
中島 靖子 新井町
亀山 明 田沢
日下部 まり子 掛泥
千葉 昌弘 中屋敷
佐藤 和子 阿仁町
藤嶋 聖人 街道町
戸島 真貴子 元町
佐藤 成一 秋田市
富樫 正子 新田中

おくやみ申しあげます

石川 徳治(76歳) 花園町
佐藤 ミツ(66歳) 妹尾館
神成 サヨ(75歳) 小森
寺田 チヨ(80歳) 花園町
鈴木仁一郎(72歳) 新田中
亀山 ツヨ(83歳) 田沢
福原 富雄(52歳) 摩当



長生きしてねと「千羽ヅル」

「つるのように長生きしてください」と願いを込めて、西小学校児童会で全児童がツルを折っていましたが、12月20日正午頃、児童代表4人が特養老人ホーム「青山荘」を訪れ、1400羽余り「千羽ヅル」をプレゼントしました。お年寄りたちは子供会の善意に感謝するとともに「あなたたちも頑張って勉強してね」と励ましあっていました。



竜森小学校にジャンボなクリスマスツリーがプレゼントされ、児童は思い思いのデコレーション

を行っていました。明利又、清水修智さん（52）が、庭に植えていた6位のカラフトドマツを贈ったもので、ときにはサンタさんの贈りものでキャラメルなどがツリーにさがっていることもあるそうで、たび重なるプレゼントに子供は大喜び。

ジャンボツリーに大喜び



マンモスXマスで交流

商工会青年部のマンモスクリスマスが、12月8日夜中央公民館ホールで開催されました。会場には商店経営者や従業員など600人余りが参加。飲食物でノドをうるおし腹を満たしていました。余興では、「鷹巣ばやし」や「無限太鼓」に、昨年開業した秋田内陸線の沿線の行事などがコミカルな仮装で演じられるなど交流を深めていました。

長い間渇水期の水不足に悩まれていた大沢と岩坂では、念願がかない摩当地区簡易水道から拡張

給水工事を進めていましたが、このほど完成し12月12日太田児童館で竣工式が行われ、集落民や関係者が参加して、水不足解消を喜びあっていました。摩当簡水から約二千米配管するとともに、工事費1,500万円で、町単事業で実施されたものです。

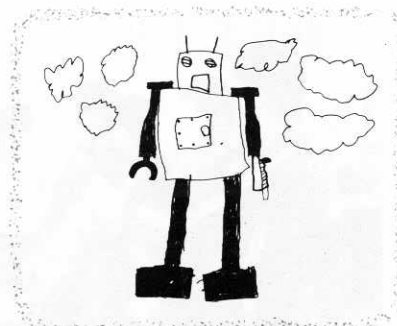
大沢、岩坂の水不足解消



の広場



綴子保育園
いしだ ひろのりくん(6歳)



雪国に生れた宿命と嘆き、雪と闘う日々である。屋根に配線して電熱利用、井戸水をポンプで屋根に流すか、地下水をパイプに通してはと、いろいろ考えたが、今普及している無落雪屋根と決め改造してから数年になります。以来



新屋敷 戸島 広志(57)

無落雪屋根に改造

今月のテーマ 『我家の克雪対策』

対談 親の意見・子供の意見



ツ ガ
(マ ツ 科)

日本中部以南の山地に生える常緑高木。樹高30m、径1m位まで生長する。

葉は小形にて長短あり、ほぼ2列生をなしている。

町内でも庭木として見かける。

(七日市・畠山 益穂氏)

隣へ雪の落ちる心配もなくなり又雪下しの必要もない。次は道に積った雪の対策だ、朝夕夜、土日祭も休みなしです。古井戸を利用して、池の金魚が凍死しないように噴水をしているので、これを分水して、ビニール管に穴をあけて融雪テストを行ったことがある。せめて車が二台駐車出来る場所が欲しいので融雪工事を発注はしたが、白鋼管の敷設で融雪を行い、春に定置することにしました。当集落の拡幅工事が実施されるようですが、水量もあり

わたしの自慢こ

四十年間の生活記録で最優秀賞

高村岱・太田見 ヒ サ(65歳)

私の四十年間の生活記録を書いた「牛魂碑」が、毎日農業記録賞で最優秀賞に入り、とてもうれしく思っております。

鷹巣に住を求めて四十年その間地域の人達のお世話になり、現在の畜産の仕事が続ける事が出来まして、深く感謝しております。

四十年前のここは、二十町歩の畑の中に、五戸の農

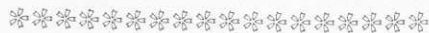


家は住んでおりました。あたり四方は大きい松の木に囲まれ、灯をさがせば星と月の明りしか見えない山里でした。電灯がないので、ラジオを聞く事が出来ない子供達は、ランプの下で毎晩本を見ていました。夕食は親子五人で丸いテーブルに座り、学校の出来事を知らせてくれ、それが夜の楽しみでした。

今は目の前に南中学校の明りが光り、車のライトが長く続き、すっかり昔の面影が消え、楽しい毎日を送っております。牛の管理も機械化されましたが、それでも牛と飼育者の心のふれあいが経営上に表れるように思われます。牛を大事に今後と搾乳に精を出したいと思っております。

綴子保育園
ふじしまじゅんこちゃん
(6歳)

みんな



辛い傾斜地でもあるので、流雪の出来るような側溝にすれば幸甚です。

急勾配の屋根

中田 道子(37)
田花

新築にあたり雪降ろしの必要な急勾配の屋根に……というのが第一の希望でした。

設計上、外観が単純になる、落雪の敷地を余分に確保しなければならぬ、側壁の補強、部屋の窓の規制など留意点は多くありました。

四度目の冬を迎えた今でも、

法報のじあり

禁煙

一年の計は……と年の初めに

禁煙を誓う人は多いようです。が、文字どおりの「三日坊主」で、その誓いが煙とともに飛んでいってしまうという人も、たくさんおられます。たばこをやめると、頭痛、イライラ、集中力の低下、不眠など、一種の禁断症状を起

雪降ろしの費用や手間が不要になり、最大の利点をうれしく感じています。

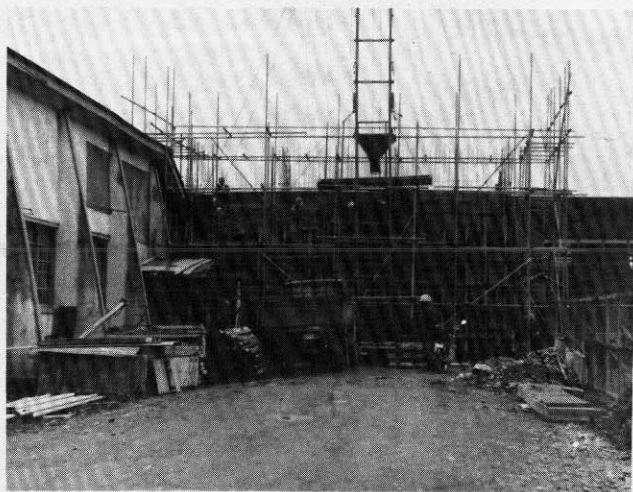
屋根材自体も加工が単純であり、雪止めで氷塊ができたリ傷を負う事もありません。スガ漏りがなく、重みで戸障子がきしむ事もないので、こうした負担から避けられることは家全体の構造を長持ちさせる点から大事だと思っています。欠点は、空地が十分でなかったので降雪量の多い年は隣家に影響するので、早めに排水しなければならぬ事です。雪国に住む私達は細かい配慮を忘れず、近隣とのコミュニケーションを大事に行きたいと思っています。



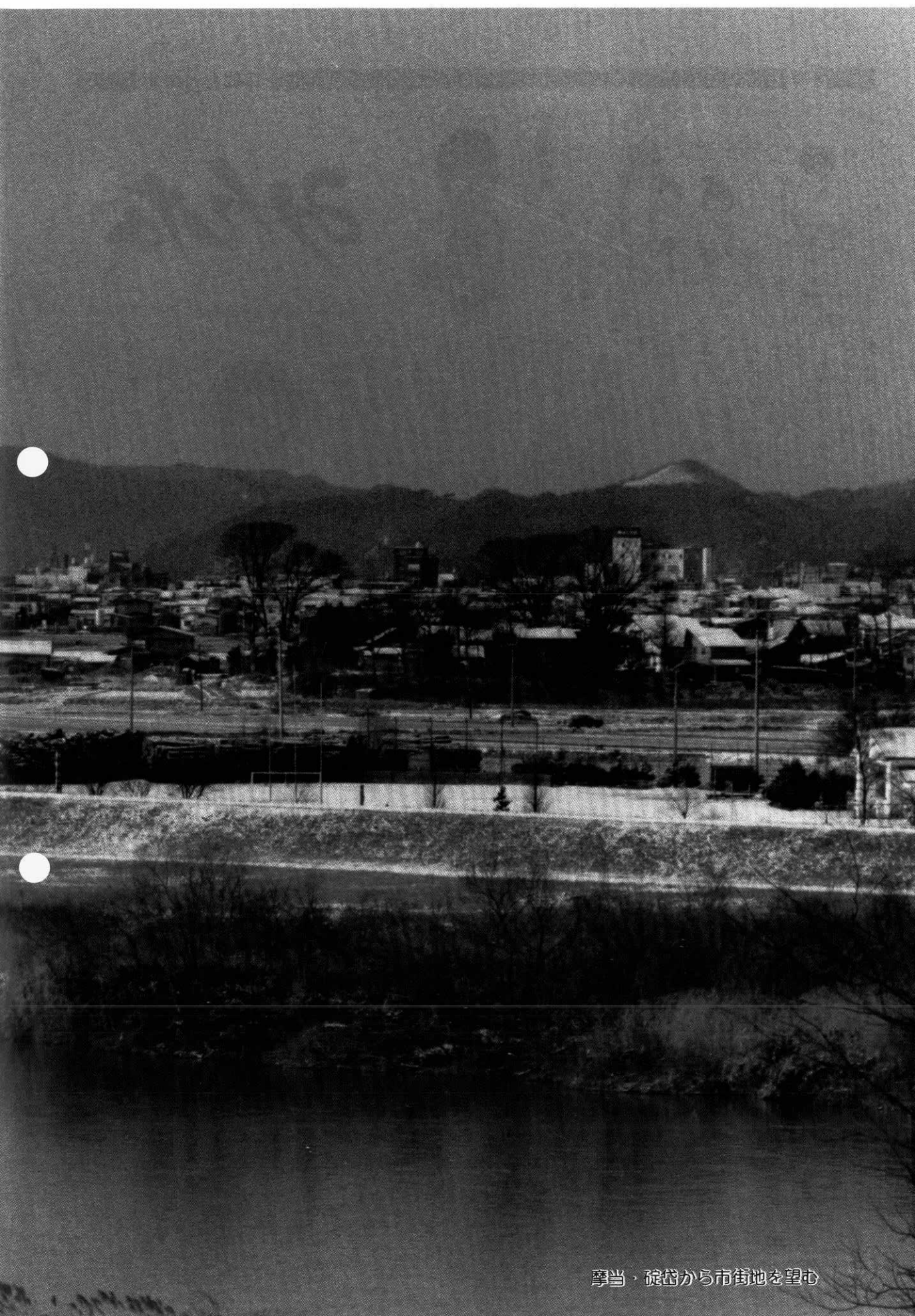
こしますが、これは大体禁煙後三、四日目ピークといわれます。従って、最初の五日間を過ぎれば、それ以上ひどくなることはなく、第一の峠を越したといえます。

禁断症状を克服するために、と専門家が勧めるのは、吸いたい欲求が起きたときに、水を飲む、散歩をするなどで気分転換を。果物や野菜を多くとり、肉や穀類、酒類、コーヒーなどは控える目に。

昭和41年旧公民館に図書の書庫が建てられ、現在の道路をふさいだ形となった。また奥の木造校舎は鷹巣農林高校の第二校舎であったが、45年に役場が建設され周辺の景観は一変した。49年には公民館が完成するとともに書庫も役場裏に移転した。



たかのすの昔



摩当・碓岱から市街地を望む